



TITLE:

彙報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

彙報. 經濟論叢 1943, 56(2): 217-218

ISSUE DATE:

1943-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/131979>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

# 經濟論叢

第五十六卷第二號

昭和十八年二月

## 論叢

計畫の經濟理論……………

經濟學博士 柴田敬

總力戰體制に於ける企業者……………

經濟學士 大塚一朗

生産理論に於ける商品群の觀點……………

經濟學士 青山秀夫

## 時論

公債の國民負擔を輕易ならしむる方法……………

法學博士 神戸正雄

## 研究

支那工業に於ける勞働場所の諸條件……………

經濟學士 岡部利良

## 說苑

支那における繭の流通費用……………

經濟學士 堀江英一

## 附錄

彙報

# 彙報

## 經濟學部

○一月十一日付を以て教授谷口吉彦氏は經濟學部長に補せられ、教授八木芳之助氏は依願經濟學部長を免ぜらる。一月二十一日付を以て教授石川興二氏は圖書館商議會委員を命ぜられ、教授汐見三郎氏は依願圖書館商議會委員を免ぜらる。

### ○本學部歐文記要 (Kyōto University Economic Review)

第十八卷第一號は次の論稿を以て昭和十八年一月三十一日刊行(丸善發賣定價金壹圓)

The Problem of Agricultural Labour-Power in the South.

Prof. Yoshinosuke Yagi

Japanese and British Vessels in Chinese Waters. (I)

Asst. Prof. Senpei Sawa

The Chinese Ideas of Money.

Asst. Prof. Fumio Hozumi

Notes

## 經濟學會

○十二月例会 十二月二十二日(火)午後一時より樂友會館に於て開催、次の報告があつた。

山田教授の「計畫の經濟理論」を讀みて 柴田 教授

報告内容は本誌二月號所載の論文參照

出席者 高田、石川、谷口、八木、柴田、大塚、中谷、穂積、徳永、靜田、白杉、山岡、田杉、出口、堀江(英)、鈴木の諸先生。青盛、有田、岡部、奥村、孝橋、柏井、金森、河野、島津、杉原、三谷、山崎の諸氏

○一月例会 一月二十六日(火)午後一時より樂友會館に於て開催、次の報告があつた。

世界戦争の本質と新經濟學の方向

谷口 教授

世界戦争の本質は、それが世界秩序と必然の聯關において勃發する點にある。従つて、それは一國と一國との間に戦はれる國際戦争、或ひは植民地の獲得または解放のために戦はれる植民地戦争とは全くその本質を異にするものである。世界戦争と必然の關聯ある世界秩序は、政治秩序・經濟秩序・文化秩序の綜合として把へられるが、それは先づ、特定の國家秩序として成立し、ついでその歴史的発展と共に世界秩序として成立するものである。かくの如くして成立する世界秩序は、その發展とともに世界秩序としての機能を次第に喪失し、遂には行き詰りに達することとなる。之は生活の發展性と秩序の固定性との矛盾の結果である。世界戦争は、かゝる世界秩序の行き詰りに際會して、舊秩序を打破し、之に代るべき新秩序を建設せんとして戦はるゝものに他ならない。かのナポレオン戦争は、中世と近世との轉換期に於て戦はれ、近世の世界秩序を成立せしめた點に於て世界戦争たる本質を有するものであるが、現在戦はれつゝある世界戦争の本質も亦此の點に求められなければならない。

世界秩序がまづ特定の國家の國家秩序として成立し、その歴史的発展の結果として世界秩序が形成されるといふ此の事情は經濟學の發展と密接に關聯する。イギリスに成立した自由主義經濟學は、イギリス的國民性を多分にもちながら、他方、世界的原理として、よく近世を指導することが出来たのである。現代の世界秩序の轉換期において、英米經濟學に代る新たな經濟學が樹立されねばならぬことは、言ふを俟たないところであるが、そこに成立すべき新たな經濟學は、また國民性と世界性とを同時に有つものでなければならぬ。新たな經濟學は、この意味よりして、從來の經濟學と異なり、個別主義に代はるに綜合主義の世界觀の上に立ち、從來の個人主義的國家觀に對するに綜合的全體主義的國家觀を以つて、更にその社會觀においては、自由主義・平等主義に代はるに統裁主義・差等主義の上に立ち、物質主義・權力主義の人生觀に對する精神主義・道義主義の人生觀を以つてしなければならぬ。更にまた從來の經濟學が前提としてゐた性惡說の上に立つ人性觀を超越して、性善說の人性觀に立脚しなければならない。かくして成立すべき日本經濟學は、個人的なる生活經濟學でもなく、英米的なる政治經濟學でもなく、實に日本的なる國家經濟學でなければならぬと考へる。

出席者 石川、谷口、柴田、中川、大塚、堀江(保)、中谷、穂積、徳永、靜田、白杉、青山、山岡、出口、堀江(英)の諸先生。青盛、有田、大谷、岡部、奥村、金森、河野、菊地、小泉、島津、杉原、前田、山崎の諸氏